

令和5年度 第2回 松本市社会福祉審議会 会議録

日 時	令和5年10月23日(月) 午後1時30分～午後2時20分
会 場	市役所東庁舎 3 階議員協議会室
出席者	委員20名(欠席者4名)
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 答申事項</p> <p>第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
あいさつ	<p>2 あいさつ</p> <p>小林委員長</p>
議 事	<p>3 議事</p> <p>(1) 答申事項</p> <p>第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定について</p> <p>《委員長》</p> <p>令和5年4月17日に諮問され、高齢者福祉専門分科会に検討を付託した「第9期介護保険事業計画・高齢者福祉計画の策定について」、事務局から概要説明をお願いします。</p> <p>《事務局》</p> <p>概要説明</p> <p>《委員長》</p> <p>高齢者福祉専門分科会長から検討結果の報告をお願いします。</p> <p>《高齢者福祉専門分科会長》</p> <p>報告</p> <p>《委員長》</p> <p>それでは、ただ今の報告について、ご意見、ご質問等ありますか。</p>

《三村委員》

障がい者福祉、児童福祉、生活困窮問題までを含め、地域共生社会を見据えた地域包括システムという構想が厚労省からも示されている。地域包括システムについて今回の計画に盛り込まれていることを嬉しく思っている。

人材不足については、学生から進路としてなかなか選択されづらい部分があり、福祉関係事業所にとって大きな問題のため、やりがいのある素晴らしい仕事であることを周知していただきたい。

《事務局》

今回の計画は、松本市総合計画、国・県の介護保険に対する指針等と整合が取れるよう検討した経緯がある。障がい者でありながら高齢者であるといった複合的な課題を抱えた方についても連携していきたい。

《岩田委員》

介護を必要としない方の住居の問題がある。引越しの際に賃貸住宅の保証人になってくれる親族等がない方が相談できるシステムが充実していくと良い。

《事務局》

重層的支援体制として、相談体制の充実・強化に取り組んでいきたい。まず相談の窓口を検討したい。

《大下委員》

障がい当事者として社会の矛盾を日々多く感じている。今回の答申の内容についても自分のこととして感じているため、今後この計画が社会と遊離していかないことを見ていきたい。

《委員長》

全体を通しての感想ということでよいでしょうか。

《大下委員》

よい。

《廣瀬委員》

中長期的な視点の項目にヤングケアラー問題がある。家族介護支援については中長期的で良いが、ヤングケアラー問題は喫緊の課題であるため、短期的に取り組むとした方が良いのではないか。

	<p>《事務局》 中長期的な視点とは、現在から未来まで長期的に見据えた取組みと捉えている。喫緊の課題についてもしっかりと対応していきたい。</p> <p>《委員長》 いただいたご意見は答申の骨格に関わるものではありませんでしたので、今後の計画の進め方についての要望ということによろしいでしょうか。</p> <p>《廣瀬委員》 よい。</p> <p>《委員長》 他ご意見ありますか。 本日予定の議事は終了します。</p>
その他	5 その他 【ご意見等】 なし